

FX NEWS PRESS

March 2019 No.147

2019年3月1日発行
エフエックス
ニュースプレス3月号

発行・編修
カネツFX証券
コンサルティング部
Tel : 03-6861-8181

3



●注目銘柄 p5

英ポンド円

英国のEU離脱期限は延期か!?
英ポンド円の行方はどうなる。

●FX・CFDセミナー情報

藤田茂の為替相場を斬る

【東京】	3/7(木)13:00~	東京金融取引所プラザ
【東京】	3/12(火)13:00~	東京金融取引所プラザ
【神戸】	3/14(木)13:00~	神戸国際会館
【大阪】	3/15(金)13:00~	カネツ商事関西支店
【大阪】	3/16(土)12:00~	カネツ商事関西支店

藤田茂の実況ライブセミナー

【神戸】	3/14(木)12:00~	神戸国際会館
【大阪】	3/15(金)12:00~	カネツ商事関西支店

FX・日経225投資セミナー

【久留米】	3/1(金)13:30~	久留米シティプラザ
【北九州】	3/2(土)11:00~	北九州市立商工貿易会館
【東京】	3/4(月)17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	3/7(木)11:00~	東京金融取引所プラザ
【東京】	3/11(月)17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	3/12(火)11:00~	東京金融取引所プラザ
【神戸】	3/14(木)10:00~	神戸国際会館
【大阪】	3/15(金)10:00~	カネツ商事関西支店
【大阪】	3/16(土)10:00~	カネツ商事関西支店
【東京】	3/18(月)17:30~	東京金融取引所プラザ
【名古屋】	3/22(金)14:00~	第二昭和ビル3F会議室
【名古屋】	3/23(土)10:00~	第二昭和ビル3F会議室
【東京】	3/26(火)17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	3/29(金)17:30~	東京金融取引所プラザ

➤ 詳しくはホームページをご覧ください ◀

 カネツFX証券

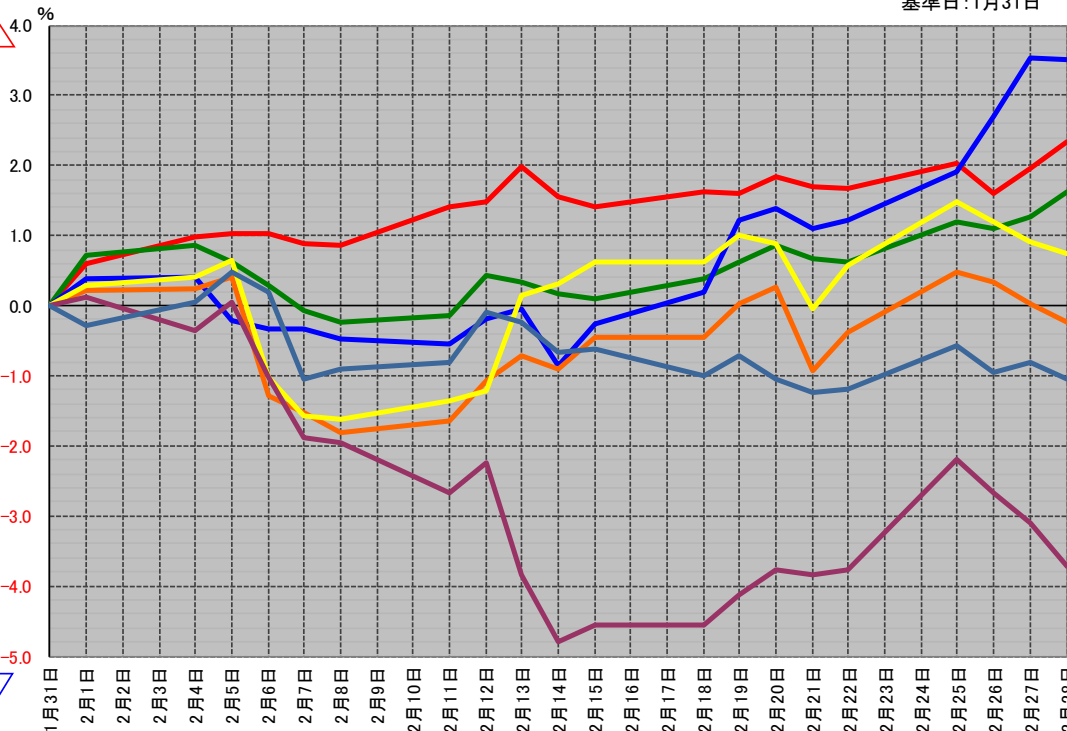
www.kanetsufx.co.jp

カネツFX証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員

米ドル円 (基準値: 108.86)	ユーロ円 (基準値: 124.615)	ポンド円 (基準値: 142.71)
豪ドル円 (基準値: 79.23)	NZ\$円 (基準値: 75.34)	ランド円 (基準値: 8.215)
トルコ円 (基準値: 21.06)		

円安

円高



2月1日 1月米雇用統計

1月の米雇用統計では、非農業部門での、雇用者数の伸びが前月比30.4万人となり、事前の予想値16万増を大きく上回った。一方で、平均賃金(前月比:0.3% 結果:前月比0.1%)などは予想値を下回っていたが、前月に続いて大幅な雇用の伸びであったことを受け、米ドル買いとなった。

2月6日 ロウ豪中銀総裁、利下げの可能性を示唆

6日、オーストラリア準備銀行のロウ総裁は講演で、インフレの停滞が続く場合、利下げが適切になるとの考えを示し、次の金利の動きが上下どちらにもなる可能性があることを示唆した。「ここ1年間は、次の金利の動きは下に向かうよりも上に向かう可能性が高かったが、現時点ではその可能性はより均衡しているもようだ」と述べている。これまでの金融引き締めバイアスからシフトし、利下げの道を開いたとの見方から豪ドル売りの反応が見られた。

2月14日 メイ英首相のEU離脱修正案が否決

メイ英首相がまとめたEU離脱協定案の修正を求める政府方針に賛同の意を問う採決が行われ、反対多数で否決となった。採決の結果は賛成258票、反対303票であった。これらを受け、英ポンドは売られる格好となった。

2月19日 黒田日銀総裁、追加緩和の検討

19日、衆議院財務金融委員会では黒田日銀総裁は、円高が進むことで、経済・物価情勢に影響が及び、2%の物価目標の達成のために必要となれば、追加緩和を検討していくことになるだろうと述べた。具体的な手段として、長期金利目標の引き下げや、資産買い入れの拡大、マネタリーベースの拡大ペースの増大などを挙げた。日銀による追加緩和の可能性が示されたことで、円売りが優勢となった。

2月24日 トランプ米大統領、対中関税延期を表明

トランプ米大統領は24日、中国との貿易協定で進展があったとして、3月から予定していた約2000億ドル余りの中国製品に対する関税引き上げを延期すると表明した。同大統領はツイッターで、「米国が中国との貿易協定で知的財産保護や技術移転、農業、サービス、通貨や他の問題を含めて重要な構造問題に関する貿易協定で、大きな進展があった」と投稿。「こうした非常に生産的な協議の結果、予定していた米国の関税引き上げを延期する」と述べた。米中の貿易協定の進展期待などから米ドル円は上昇した。

2月26日 メイ英首相 EU離脱期限の延期を提案

メイ英首相は英国議会でEU離脱について、議会の明確な同意がある場合にのみ、3月29日に合意なく離脱することになると表明した。尚、具体的なスケジュールとして、離脱日の17日前にあたる3月12日までに2回目の意味のある離脱合意の議会採決を実施し、仮に修正後の離脱合意案が議会で承認されなかった場合に3月13日に合意なき離脱の是非を問う投票が行われる予定であることが示された。離脱延期の可能性が示唆されたことにより、英ポンド買いとなった。

2月26日 インド軍、パキスタンのテロリスト拠点を空爆

インド政府は26日、自国の戦闘機がパキスタンの主要なテロリスト拠点を1つ空爆したと発表した。インド外務省のゴーカー次官は、空爆について、イスラム過激派組織「ジェイシモハド」がインド各地での自爆攻撃を計画しているとの情報を得たことが理由であると発表。2月14日にはカシミール地方でインドの治安要員40人が死亡した自爆テロ攻撃が発生しており、これらの事件にジェイシモハドが犯行声明を出していたとされている。

インド軍の空爆では300人余りが死亡したとみられており、地政学的リスクの高まりから円買いが進行した。

2月27日 パキスタン軍、インド空軍機2機を撃墜

27日、パキスタン軍はカシミール地方の自国領空内でインド空軍機2機を撃墜し、脱出した操縦士2人を拘束したと発表した。インドが26日にパキスタン領内で過激派組織を空爆したことに対し、パキスタン政府は「時期と場所を見て」対策処置をとると表明しており、これらの報復とみられている。印パ両国の緊張は高まり、26日に続いて地政学的リスクの高まりから円買いとなった。

2月27-28日 米朝首脳会談、非核化の進め方について、合意いたらず

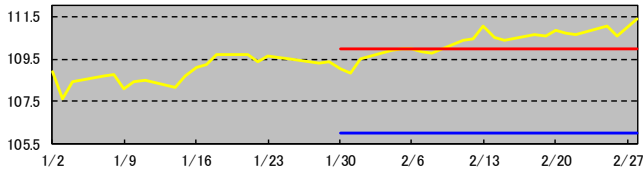
2日間にわたり、ベトナムの首都ハノイで行われた2回目の米朝首脳会談で、非核化の進め方をめぐり両者の隔たりが浮き彫りとなった。後にトランプ米大統領は記者会見で「非常に建設的な2日間だったが、席を立たなければならぬ時もある。今回がそれだった」と述べ、会議は有意義だったとする一方で、合意には至らなかったことを明らかにした。その理由について、同大統領は「北朝鮮は制裁の完全な解除を求めているが我々は、それには応じられなかった」と述べている。この結果を受けて、為替市場では円買いが優勢となった。

2月28日 米GDP、前期比で予想値上回る

28日、米商務省が発表した2018年第4四半期GDPが事前の予想値(前期比年率+2.3%)を上回る結果(前期比年率+2.6%)となった。内訳をみると、GDPの大部分を占める個人消費が+2.8%と、前期の3.5%増からは鈍化したものの底堅い。インフレ調整後の家計可処分所得は4.2%増、機器の設備投資は6.7%増となり、前期3.4%増から加速している。良好な米GDPの結果を受け、米ドル円は11.1円台半ばまで強含んだ。

ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
106.00	110.00



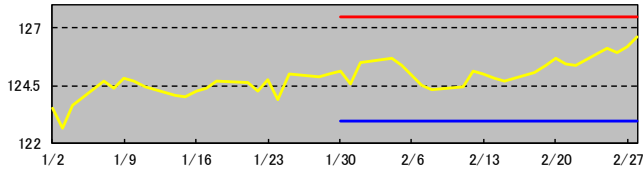
戻り売り方針 評価【×】

コメント

予想レンジ上限を上抜ける強い動きとなった

ユーロ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
123.00	127.50



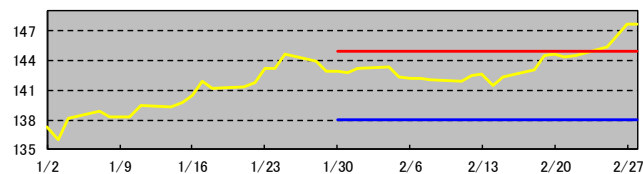
戻り売り方針 評価【○】

コメント

予想レンジの上限付近で推移する格好となった

ポンド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
138.00	145.00



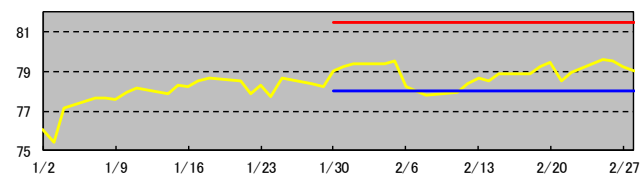
戻り売り方針 評価【△】

コメント

予想レンジ上限を上抜ける強い動きとなった

豪ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
78.00	81.50



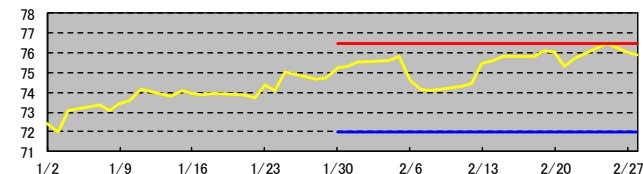
押し目買い方針 評価【△】

コメント

予想レンジ下限付近で推移した

NZドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
72.00	76.50



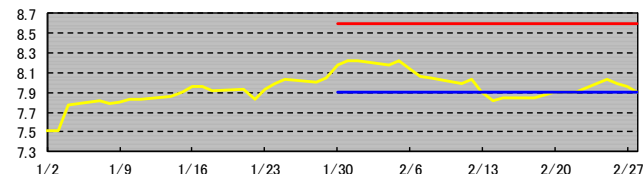
戻り売り方針 評価【○】

コメント

予想レンジ上限付近で底堅く推移した

ランド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.90	8.60



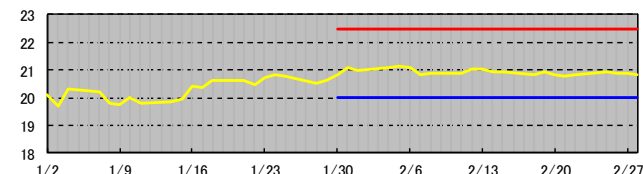
押し目買い方針 評価【△】

コメント

予想レンジ下限付近で軟調に推移した

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
20.00	22.50



押し目買い方針 評価【○】

コメント

予想レンジ内でほぼ横ばいの格好となった

米ドル/円 【押し目買い方針】

予想レンジ

↑ 114.00円
↓ 110.60円



[日足] 2018年9月1日～2019年3月1日



メインシナリオ 70%

実線は、一目均衡表の雲を上抜けたことで三役好転が形成されています。その上、1/3安値と2/27安値を結んだ線に沿って上向きのトレンドが確認でき、同線がサポート(3/1現在110.60付近)として機能しそうです。一方で、上値目途は1月以降の上昇ペースを参考にした場合、12/13高値113.72付近が目標値となりそうです。

リスクシナリオ 30%

トレンドライン(3/1現在110.60付近)を下抜けた場合で、その際は大台110.00や、一目均衡表の雲下限(3/1現在109.231)などが目標値となりそうです。

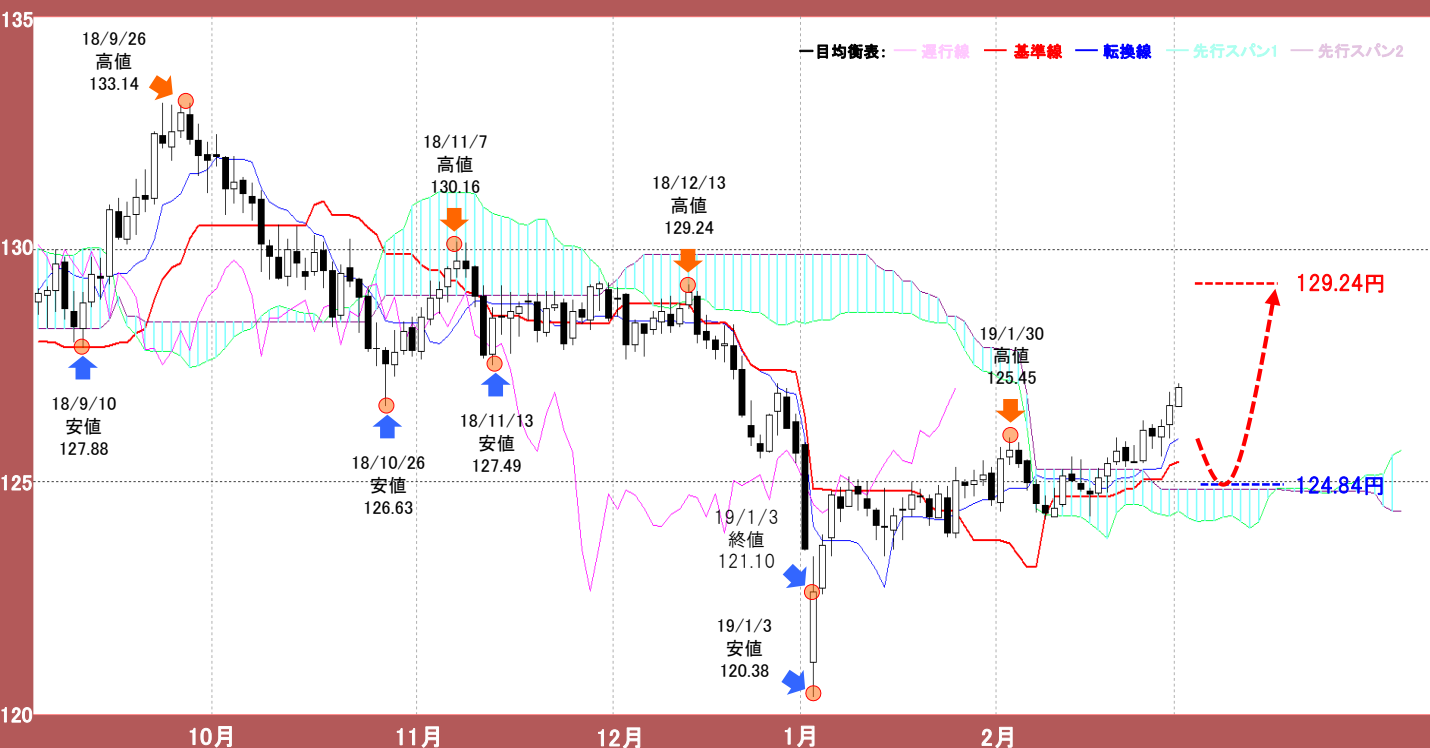
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/1 22:30	1月小売売上高(前月比)		-1.2%	★★
3/2 0:00	2月ISM製造業景気指数		56.6	★★
3/6 22:15	2月ADP雇用統計		21.3万人	★★
3/6 22:30	12月貿易収支		-493億USD	★★
3/7 22:30	1月貿易収支			★★
3/8 22:30	2月非農業部門雇用者数		30.4万人	★★★★
3/12 21:30	2月消費者物価指数(前年比)		1.60%	★★★★
3/13 21:30	2月生産者物価指数(前年比)		2.0%	★★
3/21 3:00	FOMC政策金利		2.25-2.5%	★★★★
3/28 21:30	第4四半期GDP【確報】		2.6%	★★★★

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)



[日足] 2018年9月1日～2019年3月1日



メインシナリオ 70%

実線は、一目均衡表の雲を上抜けたことで三役好転が形成されています。その上、長らくレジスタンスとして意識されてきた昨年9月から年初までの下落分に対する38.2%戻しの水準(125.25)を明確に上抜け、地合いの強さが伺えます。一目均衡表の雲上限(3/1現在124.838)をサポートに12/13高値129.24付近を目指す展開となりそうです。

リスクシナリオ 30%

サポートとして予想した一目均衡表の雲上限(3/1現在124.838)を下抜けた場合で、その際は年初空けた窓の上限121.10付近が視野に入りそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/1 19:00	1月失業率	▲	7.9%	★★
3/1 19:00	2月消費者物価指数(前年比)【速報】	▲	1.4%	★★★★
3/4 19:00	1月生産者物価指数(前年比)	▲	3.0%	★★
3/5 19:00	1月小売売上高(前年比)	▲	0.8%	★★
3/7 19:00	第4四半期GDP(前年比)【改定】	▲	1.2%	★★★★
3/7 21:45	3月ECB政策金利	▲	-0.40%	★★★★
3/15 19:00	2月消費者物価指数(前年比)【改定】	▲		★★
3/18 19:00	1月貿易収支	▲	170億EUR	★★
3/19 19:00	3月ZEW 景気期待指数	▲	-16.6	★★
3/22 18:00	3月製造業PMI【速報】	▲		★★

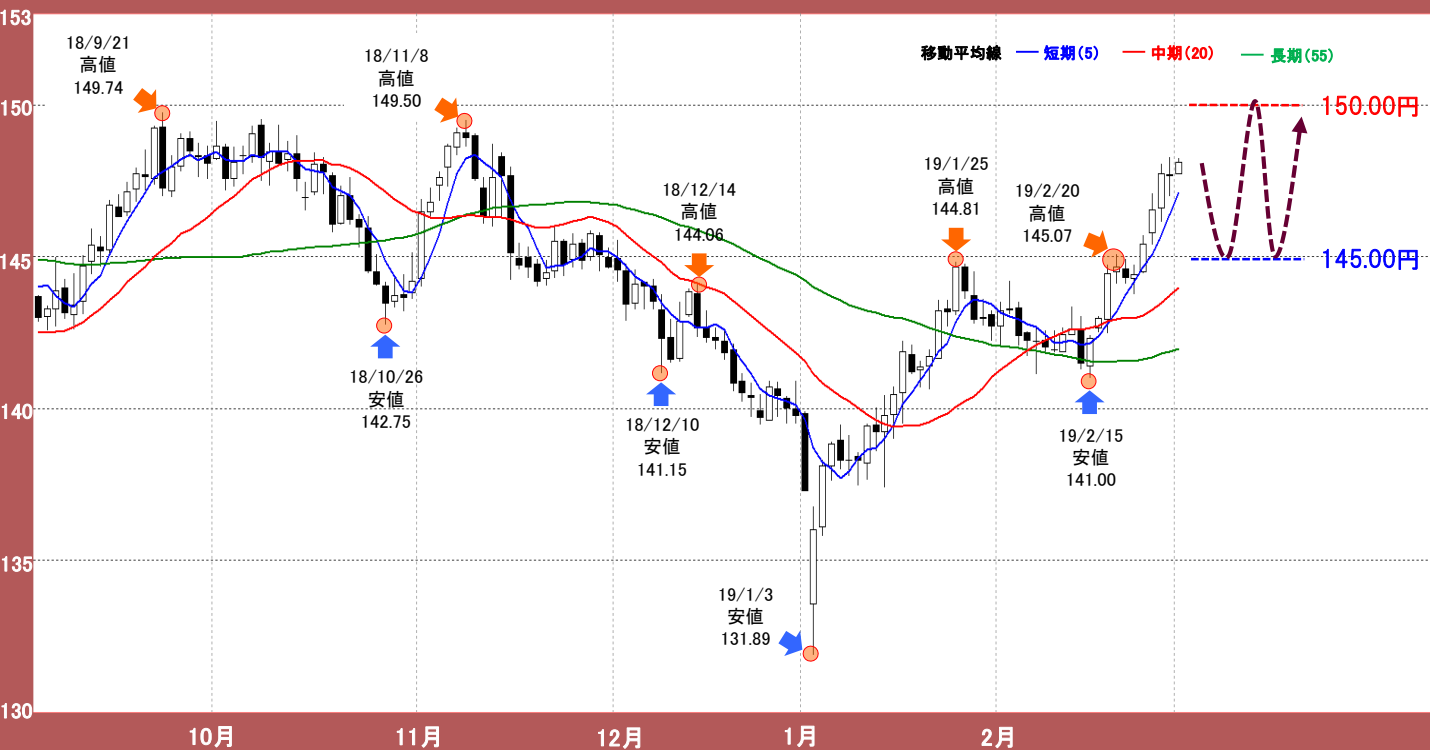
<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 150.00円
 ↓ 145.00円



[日足] 2018年9月1日～2019年3月1日



メインシナリオ **70%**

実線は、5日移動平均線をサポートに堅調な動きとなっています。ただし9月-11月の期間、幾度と大台150.00付近で上値が抑えられているため、まずは同水準が上値目途となります。一方で、下値目途は1月以降レジスタンスとして意識されてきた145.00付近で、同価格を突破したことによりサポートに転じる可能性が考えられます。従って上記の価格帯(145.00-150.00)で往来相場を予想します。

リスクシナリオ **30%**

下値目途として予想した145.00を下抜けた場合で、その際は大台140.00付近まで視野に入りそうです。

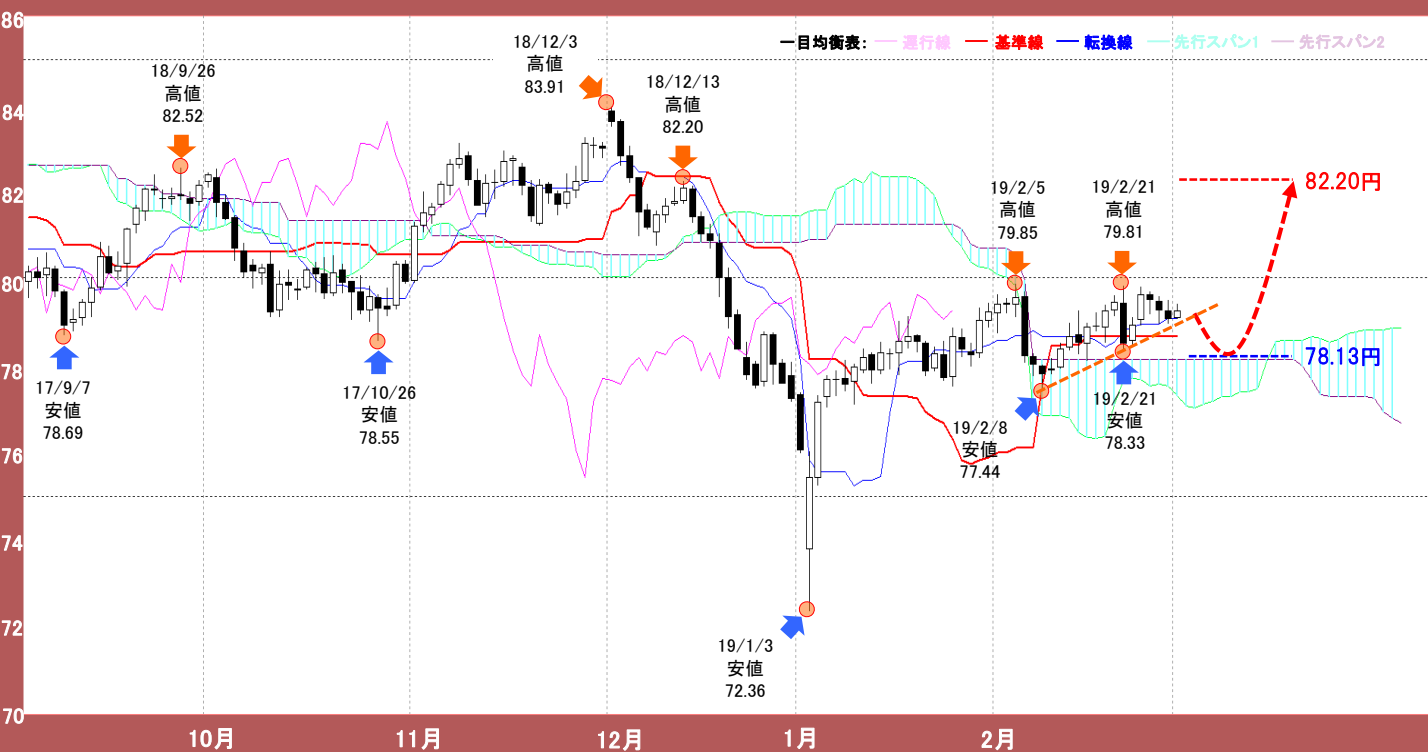
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/5 9:01	2月小売売上高(前年比)		1.8%	★★
3/12 18:30	1月貿易収支(GBP)		-121億GBP	★★
3/19 18:30	1月失業率		4.0%	★★
3/20 18:30	2月消費者物価指数コア(前年比)		1.9%	★★★
3/20 18:30	2月消費者物価指数(前年比)		1.8%	★★★
3/20 18:30	2月小売物価指数(前年比)		2.5%	★★
3/20 18:30	2月生産者物価指数 出荷価格(前年比)		2.1%	★★
3/21 18:30	2月小売売上高(前年比)		4.2%	★★
3/21 21:00	英中銀政策金利		0.75%	★★★★
3/29 18:30	第4四半期GDP(前年比)		1.3%	★★★★

〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



[日足] 2018年9月1日～2019年3月1日



メインシナリオ 70%

実線は2月以降、大台80.00付近で上値が抑えられています。しかし、下値は切り上げており、2/8と2/21の安値を結んだ線に沿って、上向きのトレンドを確認することができます。そのため大台80.00を上抜ける展開を予想し、12/13高値82.20付近が目標値となりそうです。

リスクシナリオ 30%

レンジの下限を下抜けた場合で、その際は年初に空けた窓の上限76.055付近が視野に入りそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/4 9:30	1月住宅着工許可件数		-8.4%	★★
3/5 9:30	第4四半期経常収支		-107億AUD	★★
3/5 12:30	豪中銀政策金利		1.50%	★★★★
3/6 9:30	第4四半期GDP(前期比)		0.3%	★★★★
3/6 9:30	第4四半期GDP(前年比)		2.8%	★★★★
3/7 9:30	1月小売売上高(前月比)		-0.4%	★★
3/7 9:30	1月貿易収支		36.81億AUD	★★
3/13 8:30	3月消費者信頼感指数		4.3%	★★
3/21 10:30	2月就業者数		3.91万人	★★★★
3/21 10:30	2月失業率		5.0%	★★★★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)



[日足] 2018年9月1日～2019年3月1日



メインシナリオ 70%

実線は、2/25高値76.55を示現し、堅調な動きとなっています。2/8と2/22の安値を結んだ線に沿って下値を切り上げており、上向きのトレンドが確認できます。足元でサポート実績のある一目均衡表の転換線(3/1現在75.70)をサポートに心理的な節目の大台78.00付近を目指す展開を予想します。

リスクシナリオ 30%

サポートとして予想した一目均衡表の転換線(3/1現在75.70)を下抜けた場合で、その際は2/8安値73.82付近を目指す展開となりそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/1 6:45	1月住宅着工許可件数		5.1%	★★
3/8 6:45	第4四半期製造業売上高		-1.6%	★★
3/20 6:00	第1四半期ウェストパック消費者信頼感調査		109.1	★★
3/20 6:45	第4四半期経常収支(四半期)		-61.49億NZD	★★
3/20 6:45	第4四半期経常収支経常収支(通年)		-105.39億NZD	★★
3/21 6:45	第4四半期GDP(前期比)		0.3%	★★★★
3/21 6:45	第4四半期GDP(前年比)		2.6%	★★★★
3/26 6:45	2月貿易収支			★★
3/27 5:00	NZ中銀政策金利			★★★★
3/29 6:45	2月住宅着工許可件数			★★

<相場の格言> 遇と不遇は時なり(相場で儲かっているのも損しているのも単なる時の違いにすぎない。)



[日足] 2018年9月1日～2019年3月1日



メインシナリオ 70%

実線は、2/25高値8.050を示現後、上値が重い展開となっています。その上、20日移動平均線と200日移動平均線がデッドクロスを形成しようとしていることから、地合いの悪化が予想されます。そのため、2/25高値8.050付近をレジスタンスに2/20安値7.705を目指す展開を予想します。

リスクシナリオ 30%

上値目途として予想した2/25高値8.050を上抜けた場合で、その際は12/3高値8.360付近まで視野に入りそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
3/1 8:30	日本	1月失業率		2.4%	★★
3/1 22:30	カナダ	第4四半期GDP年率(前期比)		2.0%	★★
3/5 18:30	南アフリカ	第4四半期GDP(前年比)		1.1%	★★
3/7 0:00	カナダ	カナダ中銀政策金利		1.75%	★★★★
3/8 8:50	日本	第4四半期GDP(前期比年率)【速報】		1.4%	★★
3/15 0:00	日本	日銀政策金利決定			★★★★
3/21 17:30	スイス	スイス中銀政策金利		-0.75%	★★★★
3/22 8:30	日本	2月消費者物価指数(前年比)		0.8%	★★
3/28 22:00	南アフリカ	南ア中銀政策金利			★★★★
3/29 8:30	日本	2月失業率			★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)



[日足] 2018年9月1日～2019年3月1日



メインシナリオ 70%

実線は2/5高値21.21を示現後、上値が重い展開となっています。ただし、足元では55日移動平均線(3/1現在20.69)付近で幾度も下げ止まっており、同線付近での押し目買い意欲の強さが伺えます。一方で、20・55・200日移動平均線が収束していることから、方向感が生まれるには時間を要しそうで、目先は2/5高値21.21と55日移動平均線(3/1現在20.69)の間で往来相場となることが予想されます。

リスクシナリオ 30%

サポートとして予想した55日移動平均線(3/1現在20.69)を下抜けた場合で、その際は大台20.00付近が視野に入りそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/4 16:00	2月消費者物価指数(前月比)		1.06%	★★★
3/4 16:00	2月消費者物価指数(前年比)		20.35%	★★★
3/4 16:00	2月生産者物価指数(前月比)		0.45%	★★
3/4 16:00	2月生産者物価指数(前年比)		32.93%	★★
3/6 20:00	トルコ中銀政策金利		24.00%	★★★
3/11 16:00	1月経常収支		-14.37億USD	★★
3/15 17:00	2月財政収支		51億USD	★★
3/21 16:00	3月消費者信頼感指数		57.80	★★
3/28 16:00	第4四半期GDP(前年比)		1.6%	★★★
3/29 16:00	2月貿易収支			★★

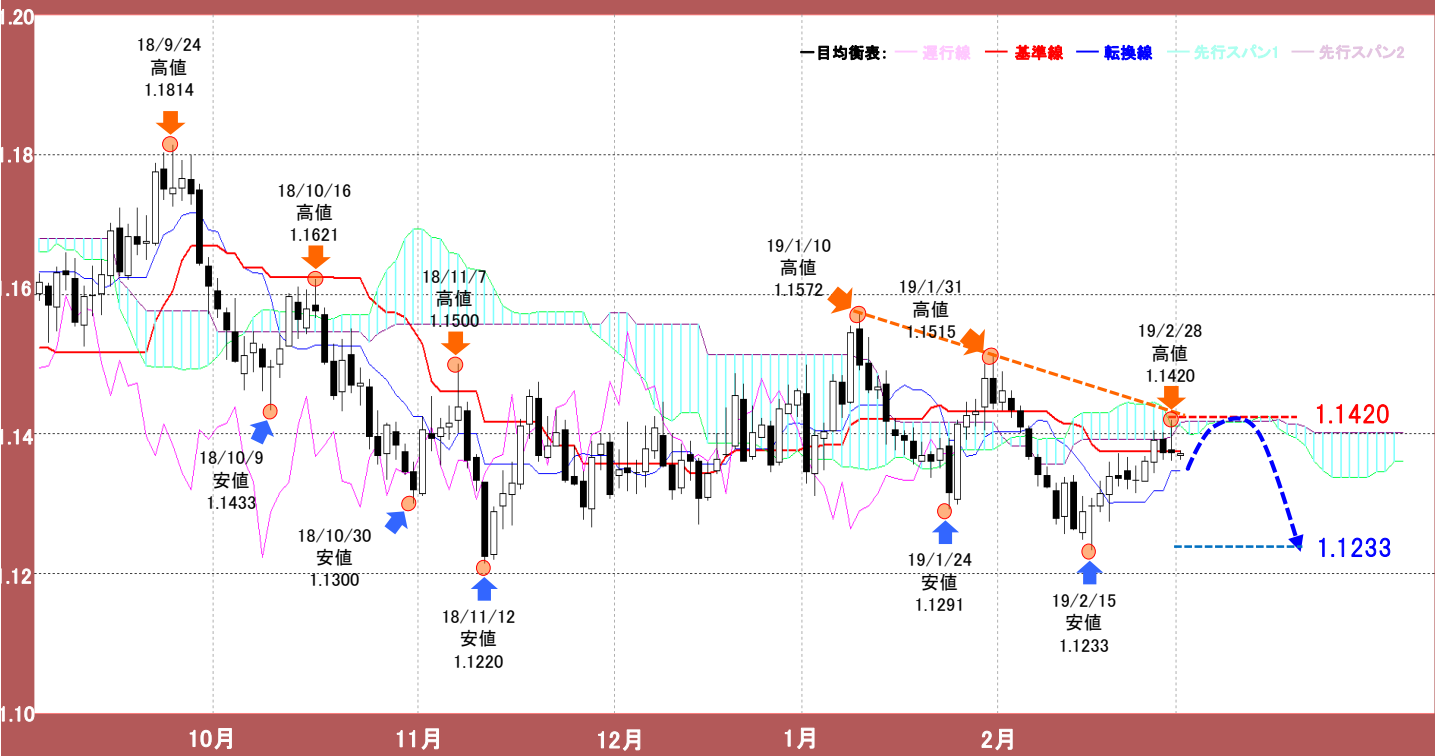
<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【戻り売り方針】

予想レンジ
 ↑ 1.1450
 ↓ 1.1200



[日足] 2018年9月1日～2019年3月1日



メインシナリオ 70%

実線は、2/28高値1.1420を示現後、足元では上値が重い展開となっています。1/10と1/31の高値を結んだ線に沿って上値を切り下げているように、同線をレジスタンスに下向きのトレンドを予想します。その場合は、2/28高値1.1420をレジスタンスに2/15安値1.1233を目指す展開となりそうです。

リスクシナリオ 30%

上値目途として予想した2/28高値1.1420を上抜けた場合で、その際は1/31高値1.1515が視野に入りそうです。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

	ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	NZ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
3月	1,516円	-238円	590円	1,137円	1,237円	5,221円	2,680円	-26.00ドル
4月	2,049円	-200円	857円	1,542円	1,441円	5,631円	2,975円	-26.00ドル
5月	1,923円	-105円	701円	1,272円	1,306円	4,662円	2,604円	-28.00ドル
6月	2,177円	-58円	785円	1,460円	1,255円	4,422円	3,160円	-23.00ドル
7月	2,083円	-169円	657円	1,334円	1,287円	4,375円	3,064円	-23.09ドル
8月	2,336円	-208円	1,080円	1,421円	1,420円	4,761円	3,714円	-26.30ドル
9月	2,248円	-5円	1,179円	1,421円	1,430円	4,190円	2,734円	-23.61ドル
10月	2,674円	-179円	1,233円	1,492円	1,182円	4,761円	3,666円	-29.39ドル
11月	2,391円	-157円	1,082円	1,221円	1,145円	3,904円	3,722円	-25.51ドル
12月	3,386円	275円	1,254円	1,615円	1,467円	4,521円	4,158円	-28.41ドル
19年 1月	2,508円	-139円	1,018円	1,315円	1,061円	4,092円	3,483円	-30.36ドル
2月	2,325円	-220円	886円	1,147円	963円	3,875円	3,480円	-26.09ドル
計	27,616円	-1,403円	11,322円	16,377円	15,194円	54,415円	39,440円	-315.76ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	スイス	カナダ	南ア	トルコ
政策金利	2018年9月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.50	6.50	24.00
	2018年10月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.50	24.00
	2018年11月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00
	2018年12月	-0.10	2.50	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00
	2019年1月	-0.10	2.50	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00
	2019年2月	-0.10	2.50	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	スイス	カナダ	南ア	トルコ
失業率	2018年8月	2.4	3.9	8.1	4.0	5.3	3.9	2.6	6.0	27.5	11.1
	2018年9月	2.3	3.7	8.1	4.1	5.0	3.9	2.4	5.9	27.5	11.4
	2018年10月	2.4	3.7	8.1	4.1	5.0	4.3	2.4	5.8	27.1	-
	2018年11月	2.5	3.7	7.9	4.0	5.1	4.3	2.5	5.6	27.1	-
	2018年12月	2.4	3.9	7.9	4.0	5.0	4.3	2.7	5.6	27.1	-
	2019年1月	2.5	4.0	-	-	5.0	-	2.8	5.8	-	-

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	スイス	カナダ	南ア	トルコ
GDP	2017年 1Q	1.0	1.2	2.1	2.1	1.7	2.5	3.7	0.4	1.0	5.0
	2017年 2Q	2.5	3.1	2.4	1.9	1.8	2.5	4.5	0.3	1.3	5.1
	2017年 3Q	2.5	3.2	2.6	1.7	2.8	2.7	1.7	0.2	0.8	11.1
	2018年 1Q	-0.6	2.2	2.5	1.2	3.1	2.7	1.3	0.3	0.8	7.4
	2018年 2Q	3.0	4.2	2.2	1.3	3.4	2.8	2.9	0.0	0.4	5.2
	2018年 3Q	-1.2	3.5	1.7	1.5	2.8	3.0	2.0	-	1.1	1.6

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	スイス	カナダ	南ア	トルコ
10年国債	2018年9月	0.130	3.061	0.470	1.573	2.668	2.613	0.039	2.427	9.000	20.030
	2018年10月	0.136	3.144	0.413	1.464	2.646	2.595	0.005	2.507	9.375	18.000
	2018年11月	0.092	2.987	0.300	1.437	2.646	2.592	-0.105	2.236	8.940	16.080
	2018年12月	0.026	2.691	0.246	1.269	2.322	2.393	-0.168	1.965	8.885	15.830
	2019年1月	0.000	2.635	0.156	1.220	2.238	2.278	-0.233	1.879	8.590	13.840
	2019年2月	0.100	2.711	0.186	1.304	2.103	2.183	-0.242	1.943	8.700	14.470

【免責事項】

- カネツFX証券(株)は、本情報に記載の情報は、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはカネツFX証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のカネツFX証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,080円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,080円のうち756円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道216円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は216円のうち108円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり30,000円～60,000円(2018年11月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

カネツFX証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@kanetsufx.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員